

会 議 録

会議名	第6回かわにし創生総合戦略推進会議		
事務局(担当課)	総合政策部政策創造課		
開催日時	令和元年12月3日(火)		
開催場所	市役所4階 庁議室		
出席者	委員	伊藤 伸 委員、上村 敏之 委員、片山 優子 委員、城南 雅一 委員、浜田、敬子 委員、福嶋 浩彦 委員、三坂 友章 委員、山本 利映 委員	
	その他		
	事務局	松木総合政策部長、船木総合政策副部長、的場政策創造課長、野田政策創造課長補佐、富永、名塩、多田	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1.開会 2.議事 3.閉会		
会議結課	別紙審議経過のとおり		

審議経過

発言者	発言内容等
事務局	<p>それではお時間がまいりましたので、ただいまより第6回かわにし創生総合戦略推進会議を開会させていただきます。</p> <p>皆様におかれましては、本日はご多忙にもかかわらず集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の議題は「第2次川西市総合戦略原案について」「第2次川西市総合戦略の答申について」となっています。本日も活発なご議論いただけたらと思っていますので、どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは福島会長、議事の進行をよろしくお願いいいたします。</p>
福島会長	<p>それでは皆さんどうぞよろしくお願いいします。</p> <p>では、議事の1番目ですが、第2次川西市総合戦略原案について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本日もよろしくお願いいいたします。</p> <p>私のほうから、原案について説明させていただきます。</p> <p>まず二つ皆様のお手元にお送りさせていただきました戦略の原案を踏まえて、11月30日の土曜日に市民会議を開催させていただきました。</p> <p>市民会議ではいろいろなご意見をいただきまして、最初にお送りした原案から修正した分を本日の資料1として、A3の資料をお手元に配付させていただいています。</p> <p>前回の推進会議でご意見いただいた変更点と市民会議でご意見いただいた変更点をポイントとして、私のほうから説明させていただきます。</p> <p>原案の1ページ、「第1章 総合戦略の策定にあたって」をご説明いたします。</p> <p>前回の推進会議で、1ページ目のところで総合計画と総合戦略の関係がわかりにくいというご意見をいただきました。</p> <p>3行目のところで総合計画に基づく福祉・医療・道路・上下水道など市民生活に欠かせないものについては総合計画の中でしっかり行っていきます、というところを追加しました。関係図については、総合計画の計画年数や総合計画を記載し、かつ3年間で重点的に総合戦略を取り組む、そのための策定という形で書いています。</p> <p>隣のページでございますが、ご指摘いただいた総合戦略の策定プロセス、について、我々がプロセスで大事にしてきた市民会議、或いは推進会議を、どういう形で進めたかをわかっていただけるような図をこちらに盛りこみました。</p> <p>次に3ページ4ページをご覧いただけますでしょうか。</p> <p>まず、第2次総合戦略の基本的な考え方の(1)は、以前は「当たり前の幸せ…」というタイトルにしていました。</p> <p>この当たり前という表現が誤解を生むのではないか、川西市がめざすものは何気ない日常に幸せを感じるということではないかというご意見をいただきましたので、タイトルを「何気ない日常に幸せを感じるまちづくり」という形にしまして、幸せの価値観がそれぞれ異なるというところから始ま</p>

発言者	発言内容等
	<p>り、住み慣れたまちで子どもから高齢者が、病気や障がいにかかわらず、健康で何気ない日常に幸せを感じることが出来るまちづくりを進める、という形で変更しています。</p> <p>それから、段落3つ目、人口減少のことをご指摘いただきました。</p> <p>我々としましては人口増加をめざすのではありませんが、実際には住み続けてもらうことで、人口減少の抑制に繋がるという表現がよいということで、3段落目を、人口減少の抑制と修正させていただきました。</p> <p>それと、最後のところで、市民の幸せっていうのは必然的にいろんな話、或いは皆さんに知ってもらって、その結果として、我々のほうとしては子育て世帯を初めとして30歳代が本市に転入してきている傾向がございますので、4段落目2行目に子育て世代を初めとした30歳代が本市を転入先として選んでいると、転入者も含めた方々が将来にわたって愛着を持ってずっと住んでいただける街をめざしますというような形にさせていただいております。</p> <p>それから、(2)でございますが、このあと説明します基本的な考え方の中で、(3)として追加したいという思いからですね(2)の最後の文章の部分だけを修正させていただきました。内容としては大きく変わりません。そちらが今回資料1でご用意させていただいている分でございます。</p> <p>3ページの修正としまして、川西の良さを大切にしたい新たなまちづくり、これは、皆さんに送らせていただいた部分と同じで網掛けさせていただいている2段落の部分の修正分としてまとめたような状況でございます。</p> <p>最後、皆さんとともに川西の未来を作り上げたいという部分を(3)市民とともに歩むまちづくりに持っていくという関係から、このような形で文書を修正しました。</p> <p>次に、資料1で追加についてです。4ページ目に「市民とともに歩むまちづくり」という部分を追加したいと考えています。</p> <p>読み上げます。「かわにし新時代を支えるのは、市民のチカラです。今回策定したまちづくりを実現するために、総合戦略の具体化、実行段階においても「市民とともに歩む」ことを基本とします。</p> <p>市民はもちろん、川西市で働く人、活動する人、縁がある人たちを巻き込んだ事業を展開するとともに、市民の主体的な取組みを積極的に後押しし、自律的な展開を進めていきます。</p> <p>その前提として必要なのは、市民と行政が相互に情報共有することです。進化が著しいICTを活用して、部署間が連携した行政情報の発信はもとより、あらゆる情報を市民と共有していきます。とりわけ、人口減少や厳しい財政状況の中で、行政が積極的に情報発信し、市民とともに共有することでかわにし新時代をともに歩んでいきます。」</p> <p>この部分を基本的な考えに追加させていただきました。</p> <p>次に原案4ページでございますが、総合戦略の進捗管理でございます。</p> <p>当初は先ほどありました総合計画の年数と今回の総合戦略を合わせても、その総合計画の策定と戦略の進捗状況を一緒に見ていこうという思いでございました。</p> <p>ただ市民会議のほうからも総合戦略の進捗状況を時点で公表して欲しい、或いは戦略に掲載した内容で、できなかった部分についてはできなかったと</p>

発言者	発言内容等
	<p>いうことをしっかりと公表して欲しいというご意見がございました。</p> <p>ここの進捗管理は上の文章をそのまま困っております修正文にしたいと考えております。</p> <p>読ませていただきます。</p> <p>「本戦略については、策定後も毎年、重点政策の進捗状況を確認し、定期的に事業の検証を行います。」</p> <p>ここでの定期的にとというのは、1年ということではなくて、事業が例えば半年後どれくらい進んでいて、どういう状況だと、もし進捗が悪い場合についてはこういう理由で、進んでいないというところを定期的に検証し、公表したいというふうに考えております。</p> <p>「また、取組内容で検討項目としたものについては市民会議のメンバーを含めた「(仮称)かわにし協働プレーヤー」とともに検討を進めます。」</p> <p>戦略の取組内容について、具体的にかけていない内容がございます。その部分について、行政でわからないことがあれば、先に市民の方々に示して一緒に考えていくというまちづくりもいいのではないかなというご意見をいただきました。</p> <p>それで、市民の方にサポートする、してもらおうというふうに一緒に取組内容も検討していきたいということから、このような形で追記させていただいております。</p> <p>「なお、取組内容について財政状況や社会環境の変化などにより、内容を変更した場合や実施が困難になった場合は、その理由を含めて公表します。」</p> <p>これは我々ができなかったことを隠すというのではなくて理由を含めてしっかりと公にしていくという内容を書かせていただいております。</p> <p>続いて、原案に戻ります。</p> <p>第2章の「時代の変化 まちの移り変わり」でございますが、推進会議でご指摘いただいた、例えば昼夜間人口の表現や、転出超過について市民の方や他の方が見てもわかりにくい部分については、注釈または文章で説明を加えました。</p> <p>次に、17ページをご覧くださいませか。</p> <p>前回の推進会議のときに、まず先ほど申し上げました総合計画の総合戦略の関係から、そのあとの部分も伝わるようにまとめていったほうがいいというご指摘いただきました。</p> <p>一つ目が重点政策をなぜ4つにしたかというところでございます。</p> <p>詳しくはそれぞれの重点政策には書かせていただいておりますが、簡単にこのところで4つを設定した理由を記載しております。</p> <p>「子どもたちの成長を支えるまちづくり」でございますが、30歳代の転入者が多く、子育て世帯にとって魅力的なまちをめざすというところを一つ我々の戦略として考えることから政策を上げたというところ です。</p> <p>二つ目は、自分に合った居場所或いは活動できる環境が整っていること、これは生活していく上で重要な要素であるということから、「誰もが力を生かせるまちづくり」へということにさせていただいております。</p> <p>それから、住み慣れたまちで幸せに暮らすためには欠かせない部分、「安全で安心して暮らせるまちづくり」を書かせていただきました。</p> <p>それと四つ目の政策で、市民がまちの魅力を知ったり、或いは関わっても</p>

発言者	発言内容等
	<p>らうことで、本市の良さを実感したり、或いは住み続けたい、または市外に出た方も戻ってきたいと思われるようなまちづくりを進めたいということから、愛着の持てる場づくりということで、その四つの部分を簡単ですが説明しております。</p> <p>そのあと、この重点政策四つがどういうふうに関わって何気ない日常に幸せを感じるまちの実現に繋がるのかというところがございます。</p> <p>イメージではなかなかわかりにくいかもしれませんが、我々としましては、例えば子どもたちの成長を支える地域の子どもの見守りというのを進めていきたいというところがございます。</p> <p>それは子どもたちの成長にも繋がりますし、保護者の方からしたら、安心して暮らせるまちづくりということで重点政策3のところに繋がり、その地域の見守り、高めていこうと思いますと、重点施策3に書いています地域活動のときの協力がいるというような形で、この四つが縦割りではなくて連携していくことで、何気ない日常に幸せを感じるまちの実現に繋がるのではないかとということで、この17ページにまとめました。</p> <p>次に19ページをご覧くださいませでしょうか。</p> <p>こちら推進会議からたくさんのご意見をいただきました、市民会議からご提案いただいたものがどの政策に繋がり、どの部分が戦略に繋がらなかったのかというところをわかるような形で書いたほうが良いというようなご意見を反映したものです。</p> <p>市民会議、或いは推進会議、それと戦略策定ということで、右にフローで書かせていただきました。</p> <p>まず今回総合戦略の策定に当たりまして、先ほど四つに取りまとめたわけですが、市民会議からの提案の選定につきましては、3年間で重点的に取り組む内容ということを選定基準純にしたのと、本市がめざす方向性と合致している部分というところを二つ理由といたしました。</p> <p>ただ今回、市民会議からの提案では、参加者の主体的な活動内容も提案としていただいておりますので、そこについては、我々としては、市民の活動を支援し、一緒に進めていきたいということで、ここにまとめています。</p> <p>下の部分ですが、市民会議の意見、例えば「産業の活性化」の班から四つ出していただきました。実はこの四つのタイトル以上に中身の取組内容であるとかそういう行政のすることを市民がしていただくことをまとめていただいております、このタイトルそのままというよりは内容を見て、それがどこの政策に繋がっていったかということをもとめております。</p> <p>例えば産業の活性化の1番では、子育て世帯からシニア世代の多様な働き方、こちらは重点施策2につながる形でございます。</p> <p>また、住宅都市の魅力向上の4番目にある四角かかっております。ご提案としては、公園をもう少し活用して、誰もが楽しく学びや遊べる場所を作るといった内容がありました。ここは直接戦略に結びつく部分ではありませんが、事業の再検証で事業内容を見直しているところもございませから、ここは総合計画に沿って今後改善して取り組む内容ということで四角にしております。</p> <p>三角については、産業の活性化の三つ目でご提案いただいたのが交通の利便性を生かして集客施設を誘致するということです。他市では高速道路の近</p>

発言者	発言内容等
	<p>くに集客施設ネスタリゾートというものがありますが、そういったものを誘致してはどうかというところについては、現時点ですけれども、市の方向性と異なるので、今回は戦略に載せておりません。</p> <p>それから、皆様方の提案書の中で、幾つもありましたのが情報発信でございました。</p> <p>これは会長からもご提案いただきましたすべてのテーマで共通した情報発信っていうのは、全政策で取り組んでいくというイメージで明記した状況でございます。</p> <p>次は実際の政策でございます。22ページをご覧ください。それから、本日お配りしました資料1の3ページ4ページをご覧くださいませ。</p> <p>前回の推進会議の時には現状と課題、或いは取組内容などいろんな視点を一つにまとめていた経過がございます。</p> <p>この辺はわかりやすくというのも大事ですが、ストーリーがないとやはり伝わらないといったご意見をいただきました。</p> <p>我々のほうで、この現状と課題に対して、市民会議からこんなご提案をいただいて、戦略の方向性としてはこういうふうに市としては考えており、実際の取組内容はこれですというような形のまとめ方に変更させていただきました。</p> <p>具体的には重点戦略1のところ、「みんなで子育てを支援する環境づくりに取り組みます」については、産前産後のところであるとか、子育て中の支援というのを絞り込んだ形の戦略にさせていただいております。</p> <p>それについて市民会議からのご提案と戦略の方向性と取組内容を書かせていただいたのですが、この取組内容につきまして市民会議でも具体的な内容を明記したほうが良いということで、ご意見をいただきました。</p> <p>本日ここもご審議いただきたいのですが、戦略で取組内容をこのような形で分けて考えさせていただけないかなというふうに考えております。</p> <p>具体的には実現項目といたしまして、全中学校区において、地域子育て支援拠点を設置します。</p> <p>明確に市として検討ではなく実施していくというところは実現項目に載せる。或いは産前産後の部分で、いわゆる母子手帳のアプリ化を市民会議からご提案いただきまして、ここは官民連携で作成していくとか、地域活動、子育ての方もそうですけども多世代交流拠点として公共施設を活用ということじゃなくてガイドラインまでしっかりつくっていかうというのを、実現項目に上げております。</p> <p>検討項目につきましては今回の戦略1を見ますと、三つほどあるのですが、ここについてはまだ担当課と詰めないといけない部分ですので、検討項目として分けて、先ほど申し上げましたように、ここも我々行政だけが考えるのではなくて、市議会からご提案いただいた部分ですので、市民の皆さんと一緒に考えていくというようなスタンスで検討していかうということ、ということで、今回このような形で検討しております。</p> <p>市民会議からいただいた部分の変更点を主に説明させていただきます。</p> <p>資料1の4ページの右の部分、重点戦略3でコミュニティスクールというのを明記していたのですが、市民会議の方々から地域と学校或いは保護者の方がみんなで環境を整えていったほうが良いという意見がございましたの</p>

発言者	発言内容等
	<p>で、市民の方にわかりやすいように4ページの一番下でコミュニティスクールを注釈に書かせていただきました。</p> <p>重点戦略4でございますが、参考指標に不登校、いじめの人数まで書いたほうが良いというご意見がありました。</p> <p>原案では、いじめや不登校の相談件数にしていたのですが、相談件数も大事だけでも、不登校になっている子どもたちが何人いるのかはしっかり示すべきということでございますので、そこは資料として書かせていただくと思っております。</p> <p>原案で申し上げますと25ページ。資料1では4ページでございます。戦略5で、登下校時における子どもの見守りというところでございます。</p> <p>原案のほうでは、取組内容でICTを活用した子どもの見守り環境の充実ということで、川西市は地域活動も盛んで地域の方々の見守りをしているが、その部分が見えず、これではICTにお金だけを投入して見守るみたいになりませんかというご意見いただきました。</p> <p>確かにおっしゃられる通りで、現状としては地域でも見回り活動を進めていただいています。それに加えてICTもただ機械を投入するというわけではなく、地域住民、保護者の協力がいる部分があり、そういうのを活用した子どもの見守りを進めてはどうかということで、そこを修正しているという状況でございます。</p> <p>原案の方、重点施策2に移らせていただきます。</p> <p>以前は「誰もが活躍できるまちづくり」というタイトルにしておりました。「活躍」という部分について、ご指摘いただいた内容を修正いたしました。</p> <p>誰もが力を活かせるまちづくりということで、自分の居場所であるとか、力を発揮できるというところをめざすまちづくりということで、修正させていただきます。</p> <p>それから、前回の推進会議で、今回の原案で見ますと重点戦略2でございますが、仕事の部分で、若い人とかシニア層の起業があるという話があり、副会長からも根拠を押さえたほうが良いというご指摘がありました。示すのが難しかったことから、その部分は削除させていただいております。</p> <p>28ページをご覧くださいませでしょうか。こちらは一番下の参考資料のところです。</p> <p>当初は起業支援セミナーの受講者数を書いておりましたが、受講者がいたからその政策に繋がるというよりは、セミナーを受けて起業した人がどれくらいだったのか人数を把握したほうが良いというご指摘からそのような参考指標を立てさせていただいております。</p> <p>次に重点政策3のほうをご覧くださいませでしょうか。30ページでございます。</p> <p>こちらも以前は重点政策のタイトルが安心して暮らしやすいまちづくりにしていました。</p> <p>暮らしやすいになると、我々がめざす総合戦略そのものではないかということでした。防災或いは防犯性の部分、或いは住環境の部分の戦略ですので、「安全で安心して暮らせるまちづくり」と修正させていただいております。</p> <p>内容は先ほど申し上げました防災、防犯、住環境、それから新たな公共交通で戦略として立てさせていただいております。</p>

発言者	発言内容等
	<p>それに沿って32ページでございますが、指標を内容に沿った形で設定したほうがいいということで、例えば三つ目の安全安心のまちだと、もうその政策をそのまま市民実感調査で行っていききたいなというふうに思っております。</p> <p>それから、猪名川町に大きな物流センターができる関係で連携をとれないか、或いはその関係で交通のほうも充実させていけないかという部分は、猪名川町さんとの連携の部分で明記できるところまで調整が進まなかったもので明記していない状況でございます。</p> <p>重点政策2重点政策3の先ほどの取組内容については、特に大きな変更はありませんが、本日お配りした実施項目と検討項目に分けさせていただいているという状況でございます。</p> <p>続いて重点政策4、34ページをご覧くださいませるか。</p> <p>こちらは愛着の持てるというところと、情報発信がメインなところと、どちらに重きを置くのだろうかというようなご意見をいただきました。</p> <p>そこは整理させていただきまして、我々としては、住宅都市という以外にも歴史、文化、自然いろんな特徴があり、その部分をもちろん勉強していただき、学んでいただくのも大事ですが、日々の暮らしの中で魅力を知ったり、学んだりするきっかけがあって、それを愛着に繋げていただきたいなという思いでございます。</p> <p>今回この歴史文化以外にも親しみや思い入れの部分でいうと、例えば地域での小さいかもしれませんがお祭りや学校での行事に思い出をもって、また川西市で子育てをしたいと戻ってこられるとか、そういう部分で戦略を進めていけたらと考えております。</p> <p>その部分を重点政策4でまとめ、一つ目の重点戦略1は市の魅力を知ったり学んだりができる環境を整えるということで考えております。</p> <p>ここでは歴史文化や、本市の特産品の部分を身近に感じていただけるような戦略にしています。</p> <p>重点戦略2は市を知って学んでいただく以外に、今回の市民会議の方々から非常にありがたい言葉をいただいたのは、参加したことでまちへの関心が高まり、市のよさをもう1回認識できたというようなお言葉いただきました。ですので、市民会議や地域の活動もひとつですし、何らかの形で関わってもらえるようなまちづくりを進めるということも戦略として掲げさせていただきます。</p> <p>続いて36ページをご覧くださいませでしょうか。</p> <p>ここでは重点戦略3として、いろんな魅力を民間事業者や著名人の方に協力いただいて、まちの魅力を効果的に活用していければ良いというご意見がございました。例えばですけれども、アサヒ飲料さんの三ツ矢サイダー記念館など、そういう部分を連携して進めていきたいということです。</p> <p>ただ、具体的な内容だと民間企業の名称でありますので、「民間事業者との」や「市出身著名人」という表現にさせていただいております。</p> <p>重点戦略4は、実際に市の愛着に繋がる部分では、市としてのこういう歴史、文化がありますよというのを転入者に伝える方法であるとか、住んでいただいている方に効果的に発信していくことも大事だろうということから、</p>

発言者	発言内容等
福嶋会長	<p>全部に共通はしてきますがこの政策4に情報効果的に発信するという戦略を盛り込んでおります。</p> <p>変更点につきましては以上でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>ではこれから議論をしていきたいと思うのですが、最初に私からです。場合によっては担当課にここへ来ていただきたいと思っております。資料1の変更のところでは、</p> <p>取組内容を実現項目と検討項目に分けたということは、具体的にやることを確認できるとすれば、とてもよくなったと思っておりますが、3ページの検討項目「留守家庭児童育成クラブの学校休業日の開始・終了時間の拡大、これは最初の市民会議にお配りした原案の中では数少ない具体的に書いてある項目でした。</p> <p>それが検討項目に変わっている。つまり、市民会議で示したものは、具体的にこれをやるというものを示しておいて、そのあと検討項目、逆にすぐにはやらないという項目に変えてしまっている。だから、市民会議で出したものよりもここで今大きく後退させて推進会議に出しているわけです。そんなものを私は会長として認めません。担当課と調整がつかないということなら担当課が来てちゃんと説明してほしいと思っております。</p> <p>検討項目は市民と一緒に検討していく、事業者と一緒に検討していくということでしたけど、これは市民と一緒に検討するようなものではありません。この体制をとる決意があるかどうか、市長がちゃんとやる決意があるかどうかという問題です。</p> <p>これは一体どういうことか説明してください。</p>
事務局	<p>会長のおっしゃるとおりです。申し訳ありません。誤解を生んでいます。</p> <p>実は我々すでに進めようとしていまして、実際に市民の方に今の状況、或いはどういうふうにしてほしいかを現在アンケートをとっております。それをもとに実際にどういう形で実施、どれぐらいの時間にすることによって、市民の方々のニーズに繋がるかを調べているという意味合いです。ここに載せたことで誤解を生んでしまっているのですが、実際には実施項目で内容自体を検討しているとそういうご理解をいただけたらと思っております。</p>
福嶋会長	<p>いや、ちょっとその説明は理解できません。だったら、実施項目に上げているものは検討全然しないのですね。実施項目にあるものは、全部、実施にあたって検討しなといけないのではないですか。</p> <p>どのぐらい広げるかアンケート調査をしているから、検討項目という話にはなりません。そんなことならみんな検討項目ですよ。この時点で直していただけないか。提案内容の修正ということを確認させていただけないか。</p>
伊藤副会長	<p>今の個別のこの特殊性ではないような気がしています。</p> <p>例えば重点政策4の取組内容で、重点戦略1から4まで全部で10個の取組内容がありますが、このうち8個は検討項目になっています。</p>

発言者	発言内容等
	<p>先週の土曜日に取り組内容の中もちろん実現できるものとできないものがあるという意見はあったと思います。これだけ見たら10個のうちの8個は1回載せたが、また検討の方に戻したというふうに私には見えます。検討というのは実現するかどうか分からないということですよね。</p>
事務局	<p>検討項目という表現の部分については、基本的に進めていく方向で考えています。より具体的に示して、より市民の方にわかるように明記したと我々は考えていましたので決して後退とかそういうことではありません。</p>
伊藤副会長	<p>30日の市民会議の内容を少しご紹介すると、基本的に、参加者の皆さんは前向きでした。とても良くまとまっているというご意見が多くありました。ただその中で、市民会議で班ごとに出した提案書からかなり抽象化されているので、結局具体的に何をするのかかわからないという意見が複数出ていました。</p> <p>そのことを踏まえて修正があったと私は認識しているのですが、実現項目と検討項目に分けたが、その表現はほとんど変わっていません。市民会議の提案書からいったん抽象化された意見があったので、より具体的に議論をしていくというストーリーに見えたが、実際によく見ていくと表現は抽象的なままで、そんな中でさらに検討項目になっています。これでは私だけではなく、市民会議に参加した人が見たら、後ろに戻ったように見えると思います。</p> <p>例えば実現項目の表現は提案書のタイトルのところを多く使っています。市民会議の提案書はタイトルだけではなく、具体的に行政が何をするかまで書いていますが、そこまで入っていないという意見が市民会議でも出ていました。そこまで入っているなら実現項目と検討項目が書かれていることの意味が見えてくるとは思いますが、認識は違いますか。</p>
事務局	<p>私が大前提のところでは先にご説明をしておらず、申し訳ありません。先日に市民会議で出した取組内容のところから検討項目に後退したということではありません。</p> <p>検討項目については、実際に我々は最終策定に向けて担当課を含めて、その期間の中に実現項目のように、しっかり表現できるような形で引き続き進めていきたいと思っています。</p> <p>今の時点で、例えば副会長がおっしゃっていただいたような、重点戦略2も保育環境の充実により待機児童を解消します、というのをいつどういった形でということや、重点戦略3も部活の支援といっても何をするのかということがありましたので、そこは各中学校に3クラブまでしっかりと体制を拡大しますという具体性を持った部分のいわゆる事業に繋がるような文をしっかりと明記した形で修正させていただいたつもりです。</p>
伊藤副会長	<p>具体的に見たときに今の重点政策2はそうかもしれないですが、例えば重点施策4の文化歴史の表現が変わっているというよりは、割り振られたというほうが中心だと思います。</p> <p>例えば検討項目をみると、川西かるたを開発しようっという提案について、さすがにそこまでは実現項目に書くことができないので、それを検討項</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>目に入れて、結果的に来年再来年に川西かるたという形ではなく、新たな歴史を知るための教材や遊びができたというのであれば、戦略としてとてもいいことだと思います。</p> <p>先日の市民会議で市長がおっしゃっていたのはそういうことだったと思います。あまりにも具体的すぎると、本当に実現できるかわからないので、一旦抽象化して除いているという話をされたと思います。</p> <p>結果的にこれだけ見ると抽象的な検討項目になっています。例えばですが、35ページにある「市民が自ら考えた新たな取組み企画に対する支援」これだけでは、抽象的で、これが検討項目になっているので、何を検討するのかわかりません。</p> <p>もうひとつ付け加えると、既存の事業の中で、市民活動助成事業とあるので何が変わるのか疑問に思ってしまう。</p> <p>いろんな市民主体の例えば、1班の夜市の話とか、川西かるたも出て、そこを具体的に実施項目とか、検討項目に書けなかったのは、今おっしゃっていただいたとおりだと思います。</p> <p>既存の市民の方々を支援する仕組みがありますが、何人以上の団体でないと支援できないというルールがございまして、そのルールも提案をいただいた市民のかたと一緒にどういう支援であれば、スタートアップのときにご協力できるか制度の仕組みを検討していきたいということがあって、具体的な実施項目が具体的に書けていないというところがあります。</p>
伊藤副会長	<p>最後にしますが、今おっしゃったようなことが書かれていたら具体性があると感ずます。「既存の事業で制約があるところはこれから変えていく」ということが取組内容に書かれていたらみんな納得できると思います。</p> <p>しかし今の記載を見たらほとんど変わらないと感じてしまいます。</p>
事務局	<p>資料1の3ページに実現項目と検討項目について説明があるのですが、その表現が確かに紛らわしいなと思います。</p> <p>具体的に実施項目と、実現項目として検討する項目を検討項目とわけて記載しますと、やるかどうかを検討するみたいなふうに見えてしまうということだと思います。</p> <p>そうではなく、取り組むけども、内容については検討するということです。その辺りは誤解を受けないようにさせていただきたいと思います。</p>
福嶋会長	<p>検討項目というのは実施するかどうか検討するわけではなく、どう実現していくか検討するということだと全部ですよね。だとするとやはり分けるのはやめる。それで書けるものはできる限り具体的に書いていく。どうしても書けないものは抽象的で仕方ない。本当にやるかどうか検討しなきゃいけないものは検討して書けばいいですよ。どうしてもこれはやるかどうか検討しなきゃいけないものについては、項目に「検討する」と記載することもできると思います。きちんと整理されていないような気がしますね。</p> <p>最初に、私が言ったものは、一番具体的に書いてあったのに検討項目になったので、明らかに担当課がちょっと待ってと言ったに違いないと私は思い</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>ました。誤解が出てくると困るので、分けたものを戻して、中身をできる限り具体的にします。この後、順番に検討していきますから、皆さんに出していただいて、市民会議の意見も踏まえて、こういうことを具体的に書けるのではないかとということ、この場で議論できたらいいかなと思います。</p> <p>我々は市民の皆さんにお見せするのに実現項目のような感じで書いたほうがわかりやすいかなというふうな部分がありました。</p> <p>しかしそういう誤解を生んでしまい、具体化して書けることは書くというものがわかりやすいのであれば、もちろんそのように進めていただけたらと思います。</p>
福嶋会長	<p>それではそういう方向でということで、この提案について頭から議論をしていきたいと思います。</p> <p>では、よろしいですかね。</p> <p>1章2章について議論して、そのあと3章で重点政策の具体的な取組内容を議論するというところでよろしいでしょうか。では何かありましたらお願いします。</p>
三坂委員	<p>3ページ目(1)「幸せの価値観は人それぞれ異なりますが、住み慣れたまちで子どもから高齢者が病気や障がいの有無に関わらず健康で」とありますが病気と健康というのは矛盾しているような気がします。</p> <p>「何気ない日常に幸せを感じることができるまちづくり」の「ことができる」というのもタイトルには出てないので外して、「何気ない日常に幸せを感じるまちづくりを進めることは重要なことだと考えます」に修正したほうが私はいいと思いますがいかがでしょうか。</p>
福嶋会長	<p>病気だけど健康って確かに不思議な感じはしますね。</p>
事務局	<p>表現のところで、我々のイメージするところは、おっしゃっていただいているとおりです。健康という概念的なところに、病気のある方、障がいのある方とか、そういう方も含めて健康というような定義がございまして、そこをリードした部分があります。まず「何気ない日常に幸せを感じる」とこれは修正させていただきます。病気と健康については表現の変更を検討させていただきます。</p>
福嶋会長	<p>2ページの策定プロセスの図ですけれども、推進会議と市民会議の関係ですが、双方向の矢印で報告・意見とあって、さらに提案って横にあるのですが、これはいりますか。提案をもらったというよりも、それぞれ報告して意見交換したということですよ。</p>
事務局	<p>市民会議からの提案書を推進会議と我々の市にももらったということで書かせていただいたのですが、報告にももちろん含まれますので、消しても問題はないと思います。</p>

発言者	発言内容等
福嶋会長	<p>提案書は市民会議の代表の誰かから推進会議会長の私宛に鑑文をつけて、正式にもらいましたか…。そうではなく、ここに来てもらって、それぞれ報告してもらって意見交換をしたということなら、報告・意見でいいと思います。</p>
上村委員	<p>今の話を踏まえると、この左側にある提案っていうのに提案書は入っていると考えていいのですか。このかわにし創生本部のほうには市民会議からの提案書は入っているということによろしいのですか。</p>
事務局	<p>そうですね。こちらは市民会議のそれぞれの班の提案書として受けとらせていただきました。</p>
上村委員	<p>資料1の2ページ目。右下の総合戦略の進捗管理の4ページの修正です。修正を比較すると修正前の方は「学識経験者や市民等が委員を務める総合計画審議会及び部会において」というような具体的な文章が入っているのですが、修正後の方は、どこの組織が進捗状況を評価して管理していくのかっていうところが書かれていないと思うのですが、そこはどのようなのでしょうか。</p>
事務局	<p>もちろん総合戦略の内容というのは次期総合計画につなげていきます。ただそことミックスして考えていくよりは、市民会議に参加していただいた方をこの進捗の状況の確認ところに入っていたきたいという思いがありまして、区分させてもらって、仮称ですけど「川西協働プレーヤー」という形にさせていただいてございます。</p>
上村委員	<p>新しい会議体を発足する可能性があるということで、ここには書いていないという解釈でよろしいか。</p>
事務局	<p>どのように市民の方に関わっていただくというのは検討段階なので、具体的に書けてないということでございます。</p>
伊藤副会長	<p>今ご指摘あったところで追加になりますが、修正資料の2ページ修正部分について、仮称の協働プレーヤーがやることは、「取組内容で検討項目としたものについて検討を進める」とあります。これは評価をするというよりは、具体的にどうすれば実現できるのかという点を各担当課と協働プレーヤーと一緒に考えるということになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>我々が関与する可能性もあるのですが、各担当課と一緒に考えさせてもらうというのがこの部分です。進捗状況の確認というのが市民会議やメンバーのことが書かれてない形になってくるかと思うのですが、ここもなんらかの形で検討にも入ってもらいますし、進捗のほうにも入っていたきたいということです。しかし現時点では具体的に決まっていないためこういった表記になっています。</p>

発言者	発言内容等
伊藤副会長	<p>もし進捗状況の評価にも関わるのであれば、文章として変えたほうが良いと思います。それと本当に取組内容全体の検討に関わってもらえると、壮大なことになる気がします。</p> <p>取組項目は、ほぼ全課に跨るくらいになると思いますが、それぞれの課ごとに協働プレーヤーという人がいて、会議に参加するようなイメージになってしまうのではないかと思います。そういうことですか。</p>
事務局	<p>取組内容すべてを皆さんにというよりは、行政だけで考えていてなかなか進まない部分を市民の方に提案して意見をもらうということを考えています。取組内容のすべてというのは現実的に難しいという感じはします。</p>
伊藤副会長	<p>「取組内容で検討項目としたものについては」と、かなり明確に書かれていますが、それよりは、「総合戦略に記載されていることの進捗状況の評価と、改善提案」とすると全体を通じてということになります。これだけを見たらすべての項目についてみんなで考えるということになってしまいますので、そこを変えたほうが良いと思いました。</p> <p>もうひとつ、この取組内容は市民会議のときに、抽象的になっているので、提案書で書いていたことはどうなるのだろうかという質問があり、市長から提案書にないから無視することではないという回答があったと私は思っています。</p> <p>行政の世界では、文章がそのまま伝わってしまいます。これだけを読むと、あくまでもここに書いている「取組内容のこの言葉」についての評価になりかねないと思います。例えば、来年の今ぐらいの時期に、「重点政策1の取組内容 ○の進捗状況は ×、というふうにならないでしょうか。そこはどのように考えていますか。</p>
事務局	<p>取組内容のすべてに当てはまるかどうかわからないのですが、市民会議の方からすごくいい提案、取組内容をいただきまして、それを実際に実現項目に上げているものは特に事業として進めていきます。その部分で例えば半年ぐらいで、今どういう状況になっているかとか、次回に向けてどういうふうになるかというのは評価なり進捗状況を確認して公表したいというのがここです。</p>
伊藤副会長	<p>半年ごとにチェックをする「取組内容」の対象についてですがここに出てくる取組内容だと抽象的なのである意味どちらでも言える状況だと思います。例えば先ほどの「新しい企画を支援します」と、どういった評価でもできてしまいます。市民会議の提案書にあるような具体的なことが、取組内容に文字で載っていない場合、そこを意図として取組内容に入っている場合が幾つもあると思います。半年後に評価をする時に、元になっている提案書の内容まで考えた上で評価するのか、この取組内容に出ている言葉で評価をするのかでは全く違います。</p>
事務局	<p>我々が総合戦略案として記載した取組内容なのか、提案書にあるような非</p>

発言者	発言内容等
伊藤副会長	<p>常に具体的な取組内容なのかというところは、即答はできません。ただ、担当課としては当然、提案書の内容を把握したうえで、それを反映することは現実的に難しいのか、あるいは反映したうえで事業進捗しているのかということなどを確認していかなければならないと考えています。</p> <p>その担保が必要であると思います。 行政の中では書いてある内容で各課は判断するのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>答えになるかですが、例えば川西かるたというような元々の提案があったわけですが、いろんな可能性がある中で書きぶりがこのままでいいのかというのがあります。</p> <p>終着点がそれ自体であるということを示すと、いろいろと可能性を追求したいという部分も絞られるということもあり、どうしても川西市として作る総合戦略はこれであるというところであれば、その表現した中身の中で今、具体的にどうなっているかということをお示しして、これはこの段階まで進めませんという話になると思います。</p> <p>抽象的な内容となっているものも、具体的にはそういう形で進んできましたということ公表する時点では具体的に示していきたいなと思います。</p> <p>ただ、もともとどういうふうにご提案をいただいていたということに関しましては、戦略そのものとは別になるのですが、限定というものは具体性のある内容にして、動かなければならないとは考えます。ただその原点に完全に縛られてしまうというののもどうなのかなと思います。どこまでやっていいのかなという感じがしております。</p>
伊藤副会長	<p>例えば、川西かるたをもし書くのであれば、「川西かるたのような楽しみながら文化歴史を学べるような仕組みを作る」であれば、決して川西かるたを作ることを決めているわけではありません。少なくとも市民会議で出た意見はそういうものだったと思います。</p> <p>「川西かるたを作れ」と市民参加者が言っているわけではなくて、「川西かるたのように楽しみながら学べるのがあったほうがいい」という提案の1つだったと思います。そういう書き方ができれば良いと思いました。</p>
城南委員	<p>それぞれの検討取組内容は粒が小さくて具体的なものもあれば、粒が大きくて、抽象的なことも含まれていると感じます。</p> <p>この粒の大きさをどうそろえていくのか、どう小さい粒にしていくのかというところが気になります。それはどこの場でやるのでしょうか。</p> <p>それから、先ほど副会長がおっしゃっていたのは、大きな粒を小さくしていくときに、本質として、もともと狙っているものから外れた粒をやっていくのだとしたときにそれで問題ないのかどうかということをおっしゃっていると思うのです。</p> <p>本質をしっかりとっているのかということはどう判断するか、どう検証するのだという仕組みですね、そのあたりをおっしゃっていると思うのですが。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>我々も例えばですけれども、コワーキングスペースの運営の支援というところを市民会議の提案を受けて書いております。</p> <p>提案書の中ではその部分について、例えばコワーキングスペースを利用して起業したい人へのサポートや、或いは仕事のマッチングに空き家を活用したら良いなどの、幾つかの要素がございます。それをおっしゃっていただいたように粒の方もどこまで見ていくのかいうところが、今すぐここは必ず全部見ていきますというのが、副会長に対するお答えになってないところだと思います。ただ、コワーキングスペースをしていく中で、今いただいているような、全部ではないですが根拠になっている部分、目的とする部分というのは一緒に見ていかないといけないと思っているので、セットで進捗は見ていく、或いはそこをめざしていくっていうのは、我々の方向性だと考えています。</p>
福嶋会長	<p>ここに「市民会議の議論を踏まえて検証します」と入れても何か特に検証がゆがむことはないと思います。</p>
事務局	<p>市民会議の意見も踏まえて検証していきたいというのはその通りでございます。</p>
上村委員	<p>やはり最初の修正文を今のところですね。具体的な総合計画審議会という名称が入っているのですけれども、それはちょっとわからないということで、やはりそれでも、なかなか今のままの修正文だと特に外部的なものを経ずに、行政の中で対応すると読めてしまうとおっしゃっているわけで、そういう形にしたいと思っているのかどうかというところとだと思います。</p> <p>なので、もしもそうではなく、市民や外部識者の会議を経て進捗管理をして公表するということを考えておられるのであれば、「外部有識者や市民等が委員を務める会議において」というような文言をどこかに入れておかないといけないと思いますけど、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>市民会議の方々にご関係してもらおうかというのは重要ですので、おっしゃっているような形で修正を考えさせていただきます。</p>
上村委員	<p>市民会議との関係性という言葉がまだ決めきれないのであれば、その書き方の名称については書かなくてもいいと思います。市民等が参加するとか、ぼやかしたような感じで、ただしそういうような外部の会があるのだということを明確化することは大事だと思います。</p>
福嶋会長	<p>そういう方向で見直していただくということでお願いします。</p> <p>その上の、囲みのところですが、これは中身というより言葉なのですけども。市民とともに歩むまちづくりで、上から2行目の戦略の具現化っていうのは戦略って総合戦略のことですよ。総合戦略と入れておいた方が良いでしょう。戦略となると、一般的な戦略ということもあるので。さらに、具現化というよりも具体化の方がやさしくないですか。</p> <p>その次の段落なのですが、「市民はもちろん、川西市で働く人、活動する</p>

発言者	発言内容等
伊藤副会長	<p>人、縁がある人たちを巻き込んだ事業」とありますが、行政からすると巻き込みたいって話かもしれませんが、市民が読むと巻き込まれるのかっていう話ですので、もうちょっと良い表現になりませんか。市民を巻き込むっていうのは、上から行政が言っているような言葉に聞こえます。「人たちと一緒に」で良いと思います。</p> <p>他のところになりますが、コミュニティスクールという言葉がわからないので注書きがあったように今回、横文字とカタカナ文字が出ていますので、資料編のところに説明を入れたほうが良いと思います。また、「かわにし新時代」という言葉がありますが、市長のマニフェストに書いている言葉ではあるけど、何を意味しているのでしょうか。「かわにし新時代を支えるのは、市民のチカラです」と書いてあるのですが、皆さんは分かっているかもしれませんが、何を支えるのですか。少なくとも総合戦略は行政の計画になるので、かわにし新時代という言葉を使うのであれば、その定義をつくらなければならないと思います。定義化するのは難しいと思いながら聞いているのですが。</p>
事務局	<p>かわにし新時代自体、全体にこういうまちづくりをめざす、これが新時代だということがあれば文言がつながるのかもしれませんが。</p> <p>しかし突然これが出てきているので、めざすまちづくりをしっかりと伝えることができるような文章を私のほうで考えさせてください。</p>
福嶋会長	<p>それでは、また戻ることもあるかもしれませんが3章、4章の具体的な重点政策にうつりたいと思います。</p>
城南委員	<p>政策1から4まで、2と3と4というのは、活かせるとか暮らせるとか持てるとか、英語でいうとCanというニュアンスがあって、政策1については、成長を支えるというような言葉なのでここをCan風に表現したらどうなるのかなと思いました。例えば「成長を支えあう」とか「支えられる」とか、そういうふうになります。</p>
福嶋会長	<p>支えることができる、という。</p>
城南委員	<p>最初に思ったのは「子どもたちが成長できるまちづくり」と思ったのですが、「支える」ということを大事にしたいという思いが強く感じられましたので、「子どもたちの成長を支えあうまちづくり」というのが良いと思いました。</p>
浜田委員	<p>子どもたちの成長を支えるまちづくり、重点施策1のところを見た印象では左側の就学前の体制と右側の教育関係の記載を比べると、右側は具体的ですが、左側がすごく抽象的となっています。これは結局やらなかったらやらないで済むのではという感じがしています。</p> <p>例えば公共施設等の利活用促進ガイドラインと書かれても、これはおそらく今でもなんらかのガイドラインがあります。これはせっかく施設があって</p>

発言者	発言内容等
	<p>も利用されていないからもっと利用しやすくしようということですよ。</p> <p>市民会議の方の話をここで聞いたときに、子育て世代の人たちの切実さが胸にせまりました。皆さん孤独で子育てに苦しんでいるということが印象的でした。このまま出されたら、実際はどういうふうに子育てがしやすくなるのかという印象を受けるかなと思いました。</p> <p>市民会議の方からの具体的な提案が盛り込めるものがないのかというのは思いました。例えば待機児童の解消については、期限きっていらっしゃるのですが、保育環境の充実って曖昧な言葉だと思います。保育園をつくるのか、定員をふやすのかとか、保育士の給料上げるのかとか。まさに今一番皆さん関心があるところで、川西市に引っ越してこようかなと思っている人たちは、保育園があるのか保育士さんが足りているのかを気にされるころなので、ちょっと左側をもう少し具体性を持たせることができないのかなと思いました。</p>
事務局	<p>戦略策定に向けて、より具体的にどういう部分を書くかということを引き続き担当課と調整を進め、できるだけわかり易く伝えられるように我々のほうで検討させていただきます。</p>
福嶋会長	<p>それがなくてここで検討しようがないですよ。</p> <p>そうするともう1回時間をおいてこれをやるということにするしかないですね。具体的に3年間に何をやるかの計画ですから。そうすると、今回はあまり議論できなくなるかだと思います。そういうものが多いと思います。だから保育環境の充実で全部ここに書き込むことは無理かもしれませんが、例えば「何々など保育環境の～」という書き方をすれば、全然伝わるものが違うと思うのですよ。それが全く出せませんと言われてしまうと、それが一番総合戦略の大切なところなので。</p>
浜田委員	<p>保育園とかってやっぱり用地買収からすごく時間がかかるものなので、むしろそれを期限切ってできるのかと思います。逆にその前にこういうことができるという具体案がないと具体的に環境の充実とはどういうことなのかと思います。</p>
福嶋会長	<p>今のところだけではなくて、上から見ていっても、「全中学校区に子育て支援拠点を設置します、地域子育て拠点で」とありますがこれは市民が読んでわかりますか。</p> <p>も多世代交流拠点と言われても。公共施設の利活用促進ガイドラインを作成するというのは、何か具体的と言えそうだけど、ガイドラインを作成するのは、促進するために作成をするので促進しますってことですよ。そうすると何を促進するのか、もう一つよくわからない。</p> <p>その公共施設の利活用、多世代交流拠点としての利活用について、今イメージで説明できることはありませんか。</p>
事務局	<p>これに関して言いますと、例えば公民館の開放時間の延長とか、或いは今空いている時間帯の利用促進とかそういったものがまず一つかなと思いま</p>

発言者	発言内容等
	<p>す。それから、これは先々の話で3年間には入りませんが、子どもが減っていくと、学校に空き教室ができますので、そういったことを具体的に示していくというイメージを持っております。</p>
福嶋会長	<p>そうすると公民館の利用促進にガイドラインを作るのですか。</p>
事務局	<p>このガイドラインというのは、内容としてはひとつ例に挙げれば、空いている時間帯はどこにあるのかというようなことです。 公民館はいつ空いているのかということや、どんなことに使っていいのかということや、まだまだお知らせしていかないといけないということが基本的にはあると思います。来られて利用できる時間や解放できる時間帯があることを周知することを検討していかねばならないとか、そのあたりを踏まえ、より具体化してお示しするというのを考えております。</p>
福嶋会長	<p>そうすると公民館の利用促進だと、ここの項目ですかね。</p>
事務局	<p>これは一例でお話させていただきただけでして、それ以外の施設も含めて地域でいろんな方が利用できるようなスペースというものをお示ししていただけたらということです。</p>
福嶋会長	<p>いろいろなコミュニティ関係の施設とか公民館とか空いているところをネットですぐ見られるようにして申し込めるようにするっていうことも...</p>
事務局	<p>もちろん必要かと思えます。</p>
福嶋会長	<p>その先は何ですか。それ以上に何かあるのですか。</p>
事務局	<p>仮定の話ですけれども、例えば公民館の土日利用は現在では事前申し込みになっています。それを開館しておいて、使いたいときに使えるというやり方もなきにしもあらずと思えます。</p>
福嶋会長	<p>この子育てというところの限定した項目ではありますか。</p>
浜田委員	<p>おそらく背景には、皆さんから利用したいときに利用しにくいという意見があったと思います。子育てのママたちが集まる場所がなくて、公民館などがもう少し自由に使えたらいいよねという意見があったからだと思います。そしたら子育て世代が利用しやすいように、「公民館などの施設の利用料を利用しやすくする」にしたほうがより具体的かと思えます。 全体的には、利用促進ぐらいがあまり手間はかからないですよ。これを全てやろうと思えば相当予算がかかると思えます。 全部ができればすごいと思います。逆に拠点施設と書くと、新しい施設をつくるのではないかと思われそうです。すべての中学校区に新設の拠点を作っていたら大変ですよ。新設の施設を作ると思われそうですので、もう少し具体的に書かれた方がいいと思います。</p>

発言者	発言内容等
	<p>既存のところに、例えば子育てヘルパーなどを置いた総合窓口をつくるのか。その辺もイメージが沸かなくて、どんなものだろうなっていうのがもう少しわかったほうがいいと思います。マニフェストみたいに実行しなくちゃいけなくなってくると大変だと思いました。</p>
福嶋会長	<p>まず整理をすると は、要するに「子育て世代の皆さんが、公共施設、公民館などを使いやすくもっと気軽に使えるように、使用料を見直します」ということですかね。そうするとイメージできますよね。</p>
事務局	<p>そうですね。子育ての部分で言いますと、会長がおっしゃっていただいた部分と、市民会議の意見では子育ての方々が集まることに加えて、その地域で子育てしている方々、高齢者の方々がそこに集まればいろいろお話ができて、子育ての悩みも聞くという話が出たので多世代交流拠点という大きい書き方をしました。子育てだけを見ると、おっしゃっていただいた部分がメインになります。</p>
福嶋会長	<p>ここにあるのは子育てをメインにしているし、高齢者と接することができるっていうのもありますよね。</p> <p>多世代にオープンにしていくとにらみ合いを結構します。高齢者の人がせっかく囲碁将棋をやっているのに、騒ぐと困るから小さい子を連れてくるのを追い出せと言うし。子育てしている人たちは自分たちが使いたいっていうし、女子高生がたまるとなんかおじさん達がいる嫌だという話になる。美しくないけど、でも、とっても大事なことだと思います。</p> <p>言葉だけでこう書くとなんかリアリティが出てこないの、ぜひ今のような話にしてもらえたらなと思うのです。戻って地域子育て支援拠点とはなんでしょう。</p>
事務局	<p>地域子育て支援拠点は、子育てのご相談やプレイルームで子どもさんを遊ばせて、その間にお母さん方が会話したり、悩み相談をしたりする場所を支援している拠点のことです。実際には全中学校区の既存の部分を使いながら設けていくことになります。それについても、ここの書き方をわかりやすいように検討させてもらいます。</p>
福嶋会長	<p>検討項目というのをやめましたけど、子どもの遊び場、プレーパークは検討項目になっていて。こちらはもともと実施していたが、今の説明を聞くとプレーパークに相談も付いているのが拠点という話ですよ。そうするとなんでプレーパークが検討項目でこちらが実現項目だったのかよくわかりません。</p>
事務局	<p>プレーパークの表現も言葉足らずで申し訳ございません。上の子育て支援拠点は、先ほど申し上げましたように室内で子どもが遊んでいてその近くに保護者の方がおられて、というようなところですよ。</p> <p>この子どもの遊び場のプレーパークというのは、公園とかをイメージしております。実際に公園はあるのですがボール遊びが禁止などのいろんなルー</p>

発言者	発言内容等
山本委員	<p>ルがある中で、子どもさんが遊べる場所をどこかに設けていきたいなということで、検討項目としています。この書き方も整理させていただきます。</p> <p>今のところの地域子育て支援拠点というのは、今のイメージでいうと、各公民館で例えばゼロ歳児の集まりであったりとか、そこに保健師さんがおられたりとか、そういうのが仕組みとしてあるとは思いますが、あえて中学校区で新たな子育て支援拠点っていうのは、市民会議でこういうのが出てきたからなのですか。</p> <p>既存のものが、ハードが増えるようなイメージで本当に必要なのかなと思います。前は牧の台小学校にあったのが、今は無くなっていますよね。キセラのほうに移ったと思います。減らしている部分もあると思いますが、また新たに増やすということで、今までとは違うものができるのか、減らしたけどまた増やすのかとか、その辺もわかりづらいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>市民会議では、身近なところで相談や子どもさんたちの交流ができるようなところがあつたらいいですねというご提案をいただきました。</p> <p>実際に保育所や認定子ども園でも、子育て支援拠点がございまして、しかし地域10校区ごとで見ると近くにない校区もございまして、そこに子育て支援拠点ということで、ハードということだけでなく、施設を活用しながら他の地区にもあるような相談や子どもさんが遊べるような支援拠点を設けていきたいというところです。</p>
山本委員	<p>この文章なら新しい何かが増えるようなイメージがありますが、そうではなくて、今までの子育て支援拠点を活用しながら地域によって差をなくす、今までなかったところにも新たに設置して利便性を高めるというイメージですか。</p>
事務局	<p>これまでは臨時的に月何回かそういうところを設けて場所を借りているものを常設にし、いつでも近くの地域で相談体制をとれるように進めていきたいという内容です。</p>
山本委員	<p>今おっしゃったような具体的な文言があるとわかりやすいと思います。</p>
福嶋会長	<p>キセラにあるとしたら、「キセラにあるような子どもの遊び場や相談ができる場所を中学校全区につくります」と書けばいいですよ。中学校全区にできるのかは心配ですが。</p>
事務局	<p>既にできているものもございまして、それは大丈夫かなとは思っております。</p> <p>例えば先ほどの小学校にあったのがなくなったものも、近くに認定子ども園が新しくできてその中に開設しています。場所が移動はしていますが、増やしていく方向で動いております。</p>

発言者	発言内容等
福嶋会長	<p>検討項目のところは、「子育てヘルパーのあり方」で止まっているのですが、ここの区別を無くすとすると、あり方を検討しますという直しになりますよね。やっぱり「検討します」ですか。</p> <p>戦略2も保育環境の充実とありますけど、「 など」っていうのは何かありますか。</p>
事務局	<p>今のところが民間保育施設の誘致といいますか、施設として対応していくのはそちらがメインにしております。</p> <p>それ以外の複数の項目については記載できるものがあれば、そこはまた確認が必要だと思っております。</p>
福嶋会長	<p>保育環境の充実というのは、民間の保育園の誘致ということですか。</p>
事務局	<p>そういうものを含めてです。市としては新設するという考えはありません。</p>
福嶋会長	<p>新設はないにしても先ほど出ていたような民間の保育士の給与の引き上げとか、待遇改善というのはどういうことでしょうか。</p>
事務局	<p>国の制度であるものはもちろん対応はしております。それ以外にも保育士の確保策というのは具体的にはいろんな方法があるかと思えますし、当然していかなければならないと思っております。</p>
福嶋会長	<p>民間保育園の誘致を3年間でやりますというのは、探すことはできるけど、実際に民間保育園が3年間のうちでできる見通しはあるのですか。</p>
事務局	<p>募集してからとなると、3年後に完成していると言われると難しい部分もあります。施設の対応というものがあるのかというご質問に関して言うとそういうことになります。</p>
福嶋会長	<p>施設以外のこと言っているのですけども。</p>
浜田委員	<p>現在待機児童が何人いらっしゃって、それを解消するために、こういうことをしますというのはおそらく普通の行政の考え方もあると思います。</p> <p>今何人いるから保育園の誘致、公設民営で幾つつくるとか、保育士の不足にはこういうふうにするとかを戦略として立てられると思いますので、具体的に書かれたほうが良いと思います。そうでなければ待機児童というのは絶対に解消しません。</p>
事務局	<p>別途、子ども子育て計画もございますので、そこは書ける内容はあると思います。</p>
福嶋会長	<p>ちょっとよくわからなかったのですが、子ども・子育て計画があるからというのは...</p>

発言者	発言内容等
事務局	現在、同時に策定をしておりますので。書ける内容はいま手元にございませので。
福嶋会長	どんなものが書けるのかというのが質問です。
事務局	持って参ります。
城南委員	同じく4ページの重点戦略の取組内容の検討項目修正で、「保護者、地域住民の協力のもと、ICTを活用した新しい子どもの見守り」とありますが、具体的にどんなことを考えておられますか。
事務局	案ではありますが、子どもさんに防犯の為に笛を持ってもらうというのがあります。かつ、どういうところを通るかという場所を認知するために、その地域の方々に例えばアプリやWi-Fiの設置などを活用する仕組みがありまして、それだけに限られたわけではありませんが、そういう子どもの見守りを進めていったらどうかということで検討項目として挙げております。
城南委員	例えば伊丹市さんが進めておられるような通学路に防犯カメラを設置するというのは案としてあるのでしょうか。
事務局	防犯カメラは川西市も各小学校区に10台設置してしまっていて、カメラによる見守りというのはあります。地域で広がる見守りと両面が大事なかなということで、防犯カメラは既に終わっているので次にこの展開ということで考えております。
伊藤副会長	<p>先ほどの重点戦略1と2のところでは指摘のあった事項で、この後も同じ質問が出てくると思う点ですが、今の取組内容についてはすべて「など書き」がありません。その結果、何を意図しているのかわからないようになっていきます。これは、この後もすべての政策で同じように出てくると思います。</p> <p>市民会議で出ていないのなら、ここに書けないですが、ほとんどが出ています。</p> <p>先ほどの公共施設ガイドラインであれば、もともとは子育ての悩みを抱えてしまうと、忙しくてストレスを抱えると自発的にどこかに出かけることができなくなり、社会的に孤立するというのが背景にあり、そのためには気軽に予防の観点でいけるようなことを考えていこうというのがありました。例えばそれは公民館にプレイマットがおいであるとか、予約をせずに寄れるとか。本当はカフェがあれば、少し非日常のことを考えられるというようなものがあつた中での提案だと思います。そういう本質が私からすると抜けていると思います。</p> <p>これは提案ですけど、各班の提案書の提案項目にはリード文がすべて入っています。いま申し上げたようなところはすべてリード文の中に入っている言葉です。そこが背景にあって、「だからこういうことを解決するためにこんなことをしたほうがいい」とわかるようなつくりがいいと思います。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>例えばこの重点政策1の下か政策分野のところに、もともと市民会議の提案書に書いてあるリード文を使いながら、もちろんこれを全部使って欲しいというわけではなくて、要素を使いながらその問題が背景にあるというように書く方が分かりやすいように思います。</p> <p>おっしゃっていただいた通りで、我々もそこを出来るだけ使いながら行政の課題を現状と課題にまとめて書いたつもりでした。</p> <p>そこもリード文が次の取組内容に入るだろうというところをもう一度全体通して見させてもらいます。</p>
福嶋会長	<p>別の話ですがコミュニティスクールのところに、カッコで学校運営協議会とあります。学校運営協議会を設置すると、それはコミュニティスクールということになるのですか。</p> <p>例えば我孫子市は全部設置しましたけど、学校が全部コミュニティスクールかというのと全然違うと私は思っています。つまり、そのポイントというのは学校運営協議会に決定権があるかどうかです。</p> <p>今設置しようとしているのは、或いは多くの自治体で設置されているのは、参考意見を言う。市民の声、地域の声、保護者の声を伝える会議を学校運営協議会として設置しているだけです。その運営協議会を設置してもコミュニティスクールではないと明確に私は思います。学校運営をどうするか地域の人たちの協議会で決定すると言って初めてコミュニティスクールです。</p>
事務局	<p>学校運営協議会は中学校2校小学校1校幼稚園1校で進めておりまして、まだコミュニティスクールではなく運営協議会の段階です。</p> <p>運営協議会を進めていって、コミュニティスクールの条件が整ったところからコミュニティスクールにというような意図をここに書かせていただいています。すべてがコミュニティスクールの導入というのはすぐにできる状況ではありません。</p>
福嶋会長	<p>そうすると「学校運営に地域の声を積極的に生かすために学校運営協議会を設置します。」と書いたほうが良いと思います。</p>
上村委員	<p>おそらく2段階あって、まず学校運営協議会を作ってそれをコミュニティスクールにしていくというような段階ですよ。これだとコミュニティスクール＝学校運営協議会とっているように思いました。まずは学校運営協議会を作り、コミュニティスクールにしていくというようなふうにしたほうが良いと思います。</p>
事務局	<p>子ども・子育て計画についてです。待機児童解消に向けた方策として掲げられているものは、民間保育所の整備に向けた支援を行うというのがひとつ。二つ目は市立幼保の再編ということで、保育所は待機児童が出ておりますが一方で幼稚園はかなり空きが出ているというのがございますので、その辺の見直し等を進めてということでございます。</p> <p>これはいろんな方策を含んでいるかどうかなのですが、会長もおっしゃ</p>

発言者	発言内容等
	<p>られた保育所確保ですね、こちらは具体的な方策というもの書かれていませんが確保していくということでございます。病後児保育も対応を利活用していただけるように進めていくということです。</p> <p>民間の運営に関して支援が必要な子どもたちの受け入れ体制を確保すると。それも大きな意味での待機と意味合いが違うかもしれませんが、その受け入れ先がないために入れれないというお子さんを受け入れていくように支援していくというような内容でございます。</p>
福嶋会長	<p>本筋ではないと言われた病児病後児の受け入れや障がい児の受け入れとかは具体的に何をやるのですか。</p> <p>幼保の再編成が「令和3年4月時点」と書いてありますが、それは無理ですよね。</p>
事務局	<p>今進めようとしている部分もあります。まだ実現していない部分は公募の手続きを含めて進めているので、令和3年4月に向けて進めようとしている部分もあるので、これも含めて考えています。</p>
福嶋会長	<p>幼保の再編というのは、令和3年なんていう話ではないと思います。</p> <p>そうすると民間保育園を誘致し、待機児童を解消しますということになりませんか。</p>
事務局	<p>大きな影響を受けるものとしてはそうですね。</p>
福嶋会長	<p>病児病後児とか障がい児に関して、具体的に何をやろうとしているのですか。</p>
事務局	<p>受け入れを進めているというのは間違いありません。</p> <p>ただ、待機児童解消かと言われるとまた別の対応だと思います。待機児童解消に向けて大きいのは戦略計画期間で結果につなげていけるのは、民間施設の整備支援であると考えています。</p>
浜田委員	<p>これで終わりにしますが、おそらく子ども・子育ての戦略は従来あったと思います。今回この総合戦略でリード文にも書いてあるのは、30代前半の子育て世代の支援、その人達に住み続けてもらえるような、人口抑制をこれだけ大きくうたっていたらここは肝の政策ですよ。従来は例えば民間の誘致ということをやっていたけれども、今回はそれを更にこうするっていうのがないと、従来やっていたことの延長ということですよ。もともとあった戦略を今調べていらっしゃるので。</p> <p>今回の市民会議を経て、民間誘致だったらやっぱり公募してもくるかどうかかわからないから、公設の園を2年くらいで作りますとか、予算との兼ね合いがありますが、何かこれまでとは違うものを重点施策に入れるからにはプラスであるのが重点政策の意味なのかなとは思いました。</p> <p>おそらく市民会議からいろんな意見が出て待機児童の解消というのはどのぐらいの優先度になっているかということもあると思います。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>例えば家で子どもを育ているお母さんの苦しみを解消するのが優先順位1だとしたら2番目が待機児童なのかもしれないですけども。でも待機児童解消が1だったら、従来の施策に加えて何かプラスをしないと、おそらく充実したなっていうふうには受けとめられないと思います。</p> <p>おっしゃっていることはわかります。ある意味決定的に保育の定数を増やすというよりは、従来のものでありますけどもやっぱり実現していかなければならないというふうには考えております。戦略として明らかにしていこうと思っています。</p>
山本委員	<p>例えば子ども子育て支援会議と総合戦略との兼ね合いが見えにくいです。さきほどのコミュニティスクールのイメージで言うとPTAも絡んでくるかと思いました。PTAの方でもあり方検討会があると思います。それをすべて総合戦略に載せるのではなく、階層としては1個上なのかもしれませんが、具体的にどこでどういう話が進んでいるのか名称を載せるとややこしいのでしょうか。</p> <p>例えばこの部分は、子ども子育て支援会議を並行してやっているとか、こっちはPTAあり方協議会だという感じにすると、具体的に今は保育環境の充実としか言えないけれども、こちらで動いていますよとわかるのではないのでしょうか。</p> <p>市民の方もそちらを今度は子育ての会議にスポットを当てて自分も見たいこうとか、PTAのあり方にも参加してみようとか、そういうこともできるのかなと思えます。</p> <p>現時点で具体的なことが書けずに別のところで動いているのであればそういうのもありかと思いました。</p>
福嶋会長	<p>別の計画で出していることを確実にやりますというようなことだと思います。</p>
事務局	<p>子ども・子育て計画はこれに関わらず個別計画でございますから、そこをしっかりと明記する、もしくは前段の総合計画と総合戦略のところにも個別計画がもちろん関わってきますから、そこで書くか、おっしゃっていただいているように子育て環境の充実というところが分かりにくければ、子ども・子育て計画で掲載している部分をここで表記して、こういうものをしっかりと取り組んでいきますというようにするかのどれかかと思えます。そこを整理させていただいて、戦略に盛り込みます。</p>
福嶋会長	<p>4ページの検討項目で、「子どもたちの将来の自立を支える学習生活支援」というのはどういったことを言っているのですか。</p>
事務局	<p>こちらは生活困窮家庭や学習するうえで、或いは生活するうえでの助成に対して学習面、生活面の将来に向けての支援です。</p> <p>これはほかのところとも同じですけども、事業内容を見ながら、より具体的に書くように検討させていただきます。</p>

発言者	発言内容等
福嶋会長	<p>具体的にすると同時に、生活が困難な家庭の子どもの学習生活支援と書いたほうがわかりやすいですね。子どもたちの将来の自立というなら全員の話だと思います。</p> <p>重点政策2以降も委員からもありましたけれども、全部同じことだと思います。ここで議論していくのは時間がありません。もう一度1を参考にして4まで全部見直していただいて、もう1回やるしかないと思います。</p>
城南委員	<p>今回の総合戦略の本質がどこにあるかと考えたときに、重点政策1の重点戦略1、2ここが一番大事なところだと思います。</p> <p>子育て世代で川西市に転入してこられる30代の若い世代を川西市としては大事にしていきたいというのが、この総合戦略の本質だと思っています。ですから、ここをより具体的にというか、より踏み込んで書くところだと思います。他も大事にしますけども、ここが最初に皆さんが見るところですから、インパクトもあると思います。私はこの総合戦略の基本が隠れているような気がするので、踏み込んだ対策、具体的な対策を表現されたらどうかと思います。</p>
福嶋会長	<p>特にここを大事にしてということで、共通の想いではないかと思います。</p>
事務局	<p>確かに、実現項目のところより具体的な部分を出して強弱をつけて、こういう政策が川西にとって大事だということを戦略として打ち出すのは大事なことだと思っています。</p>
福嶋会長	<p>参考資料で不登校といじめの人数とあるのですが、これは少ないのがいいとは思いますが、いじめは把握できていないという問題があるので、現実はいじめの人数は増えたのかもしれないですね。不登校は学校に行っていないのですが、それだって無理やり来させて数を減らしてもしょうがないと思います。</p> <p>それでも客観的にわかる数字ですが、いじめは隠れているものがいっぱいあると思います。単純に並べて減ったほうがいいけど、むしろ増えたほうがいい指標のような気がするので、扱いとして難しいと思います。</p> <p>それと、これも全部数字の事ですがよく見ていると、重点政策1を議論していますが、その中の重点戦略1に産前産後ケアですよね。戦略というのが一番大きいのではないですか。</p> <p>政策の中に戦略の1から5まであるというのは...あまり戦略とか使わないほうがいいと思います。</p> <p>総合戦略は国がそういう名前だからでしょうが、重点政策の中の項目で、重点戦略というの、そもそもなじまないと思います。</p> <p>重点戦術というレベルではないでしょうし。重点「施策」でどうでしょうか。</p>
事務局	<p>我々が総合計画で政策を大きい分類で掲げていて、今回はここに重点的に取り組んでいくということで戦略という言葉を選択しました。</p>

発言者	発言内容等
	<p>取組内容もございますから、総合戦略という限りは、戦略という言葉で伝えていきたいということがありました。実際には施策や事業であったりします。</p>
福嶋会長	<p>どうしても戦略を使うのであれば重点政策のほうを重点戦略1にして、重点戦略の各項目を重点政策1～5というほうがいいと思います。 私は重点政策と重点施策がいいとは思いますが。</p>
山本委員	<p>政策のところではありませんが3章の初め、カラー刷りの17ページについてです。ここに図を書いていたのはわかりやすいのですが、この総合戦略のテーマとして何気ない日常に幸せを感じるまちと川西市のよさを大切にした新たなまちというのが並列にあるのかなと思っていました。 この真ん中に一つ目の何気ない日常に幸せを感じるまちの実現というものだけが来ていて、川西市のよさを大切にした新たなまちというのがどこかに行ってしまうんですが、それは並立じゃないのでしょうか。もし川西のよさを大切にした新たなまちというのも大事なのであれば、この中に入れるのか、どういう位置付けになるのかと思いました。漏れていて変な感じがしますがどうでしょうか。</p>
事務局	<p>今回追加させていただきました「(3)市民とともに歩むまちづくり」も基本的な考え方で本市が大事にしていきたいところです。 そこも含めてこの政策4つとどう関連があるかというのは検討させてもらいます。</p>
伊藤副会長	<p>多分前回の推進会議では「川西の良さを大切にするとそれぞれが思うことによって皆が幸せを実感できる」となり、並立ではないという話があった記憶があります。</p>
福嶋会長	<p>それは検討していただくということで。 いじめと不登校は出てくるけど、虐待が無いですね。社会的にとっても注目されてというか問題になっていることでもありますよね。</p>
事務局	<p>もちろん大事な部分ではあります。市民会議からの意見で虐待については出てこなかったのも、この戦略にはありませんが大元の総合計画では進めていくこととなります。</p>
福嶋会長	<p>いじめと虐待はセットであるケースが多いので、どこかに少し入れることはできませんか。それも検討してください。 もう時間も迫っているのですが、重点政策1の議論を参考にして、他の重点政策の取組みのところで具体性が出るように直してもらって、それでもう一度、ここで審議をするということしかないと思います。 まずそれはよろしいですか。事務局とお話しをしたら、パブリックコメントを予定しているので、答申だけもらいたいということです。 そうすると答申のなかに「取組内容については具体性に欠けるので全面的</p>

発言者	発言内容等
	<p>に直してもらいたい」というのを入れて、答申ということになるかと思いました。ただ、直すことを前提で市民にパブリックコメントを出すこと自体が、市民に対してどうなのかということと、具体的に見えない取組内容でパブリックコメントを出してもあまり意見がこないのではないかと私は思います。皆さんはどうでしょうか。</p>
三坂委員	<p>会長は意見がこないという事をおっしゃっていましたが、川西市は市民力が非常に高いのでSNSで意見を出してくださいと言えば、それなりに集まってくると思います。具体的な意見を出してくださいというのでも私は構わないと思っています。</p>
福嶋会長	<p>直すことを前提にパブリックコメントにかけるということ自体が、行政としては市民に対してどうなのかというのはありますが。 「具体的な取組内容についてはこれから全面的に直します。皆さんご意見ください」というやりかたにするかですね。</p>
上村委員	<p>手続き的にはまずいという気はしますね。スケジュールを教えてもらっていいですか。</p>
事務局	<p>今回の推進会議6回目を12月にさせていただいて、そこで答申をいただいて、12月の下旬から1月にかけてパブリックコメントというようなスケジュールです。</p>
上村委員	<p>パブリックコメントが終わった後はどうなるのでしょうか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントを受けまして、もう一度最終案を策定しまして、今回のようにいろんなご意見をいただき、原案から大きい変更があった場合には、再度推進会議を設けて最終確認をいただいた後、策定というスケジュールを考えております。</p>
上村委員	<p>推進会議があるとすればそれはいつですか。</p>
事務局	<p>パブリックコメント終了後にその意見も踏まえてご議論させていただくので1月下旬頃を想定しております。</p>
上村委員	<p>そのあと出てきた総合戦略は議会にいくと考えていいですか。</p>
事務局	<p>はい。パブリックコメントについてのご議論をいただいたうえで、議会で協議させていただきます。</p>
上村委員	<p>その協議はいつスタートの予定ですか。</p>
事務局	<p>推進会議が終わってからですので2月中旬あたりです。</p>

発言者	発言内容等
伊藤副会長	<p>先ほどの話でいくと、仮にパブリックコメントで意見があまり出なかった場合、一般的な手続きでいくと、修正がないままの策定になると思います。</p> <p>しかし、今の話でいくと意見が出なかったとしても変えるということが前提になるというのは、手続き論としては違うような気がします。</p> <p>もともと全体計画をつくる中で、逆算してパブコメが12月下旬から1月にかけてではないと難しいという話はしていました。</p> <p>この推進会議のタイミングで答申を出さなくてはならないことの制約はパブリックコメントと議会ですね。</p>
事務局	<p>パブリックコメント前に議会を開催していくというものがあるので、今回で答申をいただく予定にしておりました。</p>
伊藤副会長	<p>12月議会の中で、別に何か議案としてかけるわけではないが、報告をするということは決まっているということでしょうか。</p>
事務局	<p>パブリックコメント前に議員協議会という会を開いて、そこで協議するというのが川西市の手続きです。</p>
伊藤副会長	<p>議員協議会にかけるにあたって「この後が変わります」というものをかけること自体、手続きとしては変なことになってきますか。</p>
事務局	<p>あくまでも取組内容は具体的に書けていないところなんですけど、市の方向性や今考えているのは、修正文で出ささせていただいたように、議会と市民のかたの意見を踏まえて最終案につなげていけないかと考えております。</p>
伊藤副会長	<p>何か制約があるのですか。</p> <p>3月中に、とにかく総合戦略がまとまればいいのでしょうか。</p> <p>逆算したときにパブコメを後ろにできないか想定を考えないといけないと思うのですが。</p>
事務局	<p>令和2年度からの戦略ですので、市民の方から頂いた意見をできるだけ具体化していくためには令和2年度の予算に整合させていきたいという想いの中で組んだスケジュールです。そういったことまで考えると、パブリックコメント後に推進会議を開催するという段階で予算化したいという想いはあります。</p>
福嶋会長	<p>いや、予算編成を1月にやっても、予算の中に入れられないじゃないですか。それに具体的な取組内容が具体的に決まっていないのに、予算に反映もなにもないでしょう。予算が理由になると、そもそも変だと思います。</p>
事務局	<p>作業的に予算がどうこうという部分もそうなのですが、令和2年度の4月からすぐ取り組みたいという想いの中での考えかたです。</p> <p>当然並行して具体化する作業というのを今から取り組んでいかなければならないというところです。</p>

発言者	発言内容等
	<p>今日を受けてどういったスケジュールにしていくかということはあるのですけれども、予定では12月に予算要求をし、1月には予算にのせられるように調整をしていくというような考えがありました。</p>
福嶋会長	<p>そういう話をされると話がまとまりません。 全然具体的に決まっていらないのにどうやって予算要求して、財政とどう調整するのですか。今日答申しようがしまいがパブリックコメントをいつしようが、中身がなければ予算なんてできないじゃないですか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりで我々のほうでは、この取組内容のところは市民会議と今日の推進会議でも、より具体的にしたほうがいいということで、そこは我々もそう感じておりますので、修正させていただきたいと思っております。</p> <p>確かにパブリックコメントは案を整えて意見をもらうというのが在り方です。ただ、それも含めて市議会議員の方々、或いは市民の方々からご意見をいただきながら、より実現のあるような取組内容を並行していく、検討していけないかなということで、今は事務局提案をさせていただいております。</p>
福嶋会長	<p>取組内容は、これから変えますので、ご意見くださいというパブリックコメントということですか。 絶対にやってはいけないという事ではないかもしれません。</p>
事務局	<p>この原案の修正はもちろんなのですが、今こういう取組みをして市民の皆さんとともに進めようとしていると、この部分については、まだ市民の方々から引き続きご意見をいただきたいような形でやろうと思っております。計画だけ載せるのではなく、そういうものをつけさせていただいて、そのうえで市議会或いは市民の皆さんからご意見を聞かせてもらえるようにできないか考えております。</p>
福嶋会長	<p>その場合は推進会議から特に取組内容については全面的に変えるように求められているってということも明示してということになりますよね。 それこそ議会に出して大丈夫ですか。</p>
城南委員	<p>こういう内容で、パブコメとかそれから議会、協議会等々をとあって、先ほど申し上げたような粒が大きいような段階で、推進会議から手が離れたと。要するに、この会議もいつかは終わりますから、どこかでまだ粒が大きいけどこれでやってくださいという段階が来ます、その後の具体的に予算がつくような施策というのは、どこで考えていかれるのかということ、各部局で考えていかれるのでしょうか。</p>
事務局	<p>これから戦略の方向性を決めて、より具体的なことをどういうふうに考えていくかということでしょうか。 市で市長をトップとした会議がございまして、その中で検討しながら最</p>

発言者	発言内容等
	<p>終的にはおっしゃっていただいたように各部局が考えて、それをまた全体のところで再度検討し、具体的に確定していくという流れです。</p>
城南委員	<p>総合戦略推進会議が果たすべき役割というのは、改めてどういう役割なのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回の第2次川西市総合戦略の策定に向けて方向性や取組内容を含めてご意見をいただけるように諮問をさせていただきましたので、戦略について議論をしていただく。</p> <p>最終は行政計画でありますので、計画自体は市で策定するという事です。</p>
城南委員	<p>当然のことながらどこかで線引きがされるということですよ。その線が事務局の方と我々とは合っているのかが浮かび上がってきたかと思うのですけども。</p>
福嶋会長	<p>本来なら今日に答申を出して、具体的な戦略の原案に対して意見をまとめて、個別の項目について書き込む意見をまとめて、それで一応私たちから離れるということだと思います。</p> <p>その個別の意見をまとめるというのが、取組みのところで具体的に見えないために、まとめようがなかったかということですね。</p> <p>パブリックコメントで意見が出てくるというのはそうだとすると、この後で取組みの中身を具体的に書くのですよね。それに対してパブリックコメントは無くてもいいのかという気がするのですけれども。具体的に何をやるのかというのが一番市民は気になると思います。そこで意見を聞かないということでもいいのかという気がします。</p>
三坂委員	<p>パブリックコメントについては、基本的には質問があって、行政が全部回答しますよね。</p> <p>それで「これは検討させていただきます」「これは取り入れさせていただきます」ということであることによって、市民の意見を反映させていきます。</p> <p>先ほど申し上げたように、川西市民の意識力は高いし、今までであったことのない市民会議で何回も協議を重ねていきました。川西には関心を持ったかたが多いので、意見は出ると思います。</p> <p>それをより反映させて、時間はないかもしれませんがとりまとめたほうが、より良いものができると思います。</p>
福嶋会長	<p>市民会議の市民の皆さんの意見は市民会議で聞いてきたのですよね。それを踏まえてつくったものに今度は全部の市民の意見を聞こうということですよ。そのときに、具体的に何をやるかという部分が見えないのは、意見を聞いても具体的に何をやるかについては、市民全体からの意見を聞かないということになるのですけれども、それはいいのだろうかということです。</p>

発言者	発言内容等
三坂委員	<p>パブリックコメントは、例えば全体のものがありますよね。参考資料として市民会議の資料を個人情報が出ないように出してもいいですよね。</p> <p>これを見てご意見をぜひ出してくださいますかということでは対応は可能だとは思いますがどうでしょうか。</p>
福嶋会長	<p>市民会議の意見ではなくて、それを受けて川西市が何をやるかという具体的な内容を伏せて、パブリックコメントに出していいのかということです。</p>
三坂委員	<p>伏せてというか、出せることは出すというのが私の記憶ではあるのですが。</p>
福嶋会長	<p>いや、これは全然出してないですよ。何も書いていないに等しいと思います。</p> <p>具体的に何をやるかを伏せて市民に意見を聞く。それは何かをやって欲しいという意見は聞けますが、川西市がやろうとしている事にそれは違うでしょうとか、それはもうちょっとこうでしょって意見は出しようがないですよ。パブリックコメントをやったって形式を整えるパブリックコメントはできるかもしれませんが。</p> <p>何をやるかを言わずにパブリックコメントをとっても、私はせっかくやるパブリックコメントの価値が下がると思います。</p>
上村委員	<p>この推進会議というのは、持ち回り審議は可能ですか。具体的な動き方を考えていかないといけないと思います。もちろんそのパブリックコメントを後ろ倒しするというのにはあるのですが、後ろ倒ししたとしても、何らか協議の場はWeb上か会議かはわかりませんが設けるべきと思っています。</p> <p>もし持ち回り審議が可能であれば、具体的な内容について例示をこの中に書き込んでいただいたものを提供していただき、意見をまとめてそれをパブリックコメントにかけるといふこともあるのかなというふうに思いますが、いかがでしょうか。</p>
福嶋会長	<p>ネット上でやりとりするということですか。</p>
上村委員	<p>ネット上でやりとりをする場合は、意見が出たときにどう答えるかということもあるので、最善の策ではないと思っています。</p>
福嶋会長	<p>メーリングリストみたいなものが見えるようにしたほうがいいとは思いますが。他の委員が何を言われているかわかりませんので。</p>
三坂委員	<p>他の会議があるので、再度会議ができるのでしょうか。</p> <p>できるのであればいいと思いますけど、メーリングリストは確かにいいのですが、顔が見えないですよ。文章だけですと誤解が生じますので、やっぱり延長したほうがいいと思います。</p>
福嶋会長	<p>そうすると、会議をもつか、あるいは個別に市とやりとりをするかという</p>

発言者	発言内容等
	ことになりますね。
伊藤副会長	パブリックコメントは1か月ですよ。12月17日からパブリックコメントをするというのをホームページで出しているから、そっちのほうスケジュール上の問題になっているのではないかと思います。
事務局	議会は今週から始まりますが、協議会に出すのは12月13日を予定しております。事業検証も含めて行う予定です。今回いろいろご無理を申し上げているのはそういう事情がございます。
伊藤副会長	そういうことでいえば、13日のタイミングでは現段階のもので出して、「ただこの後、取組内容については具体性を持ったものにする」というふうにかかけたいということになるのですよね。
福嶋会長	選択肢も限られますので今のように進めていくか、13日までに詰めていくか、詰め方は先ほどの通り持ち回りでやるか、会議で集まるかですが。
上村委員	私は持ち回りがいいと思います。具体的に行政の皆さん方で書いていただいて、それを持ち回りで。見るのは大変ですけど、違和感があるところは質問すればいいですし、そういうふうにはやっていくほうが建設的だと思います。
城南委員	修正資料はいつぐらいなら仕上げられますか。仕上がり次第、メールなどで送っていただければ読みます。それで意見があれば、言わせていただきます。何もなければそのとおりメールでお返しして、会長にもご連絡いただいて、会長は全容を知るといのはいかがでしょうか。
上村委員	その意見をお手数ですけど、まとめていただくのは会長と副会長に一任するというのが一番現実的だと私は思います。
福嶋会長	一応理屈上12日までにメールで持ち回りを終わらせて、作るということですか。仮に一つの事に違う意見が出る可能性もあるし、それを最終的にどうまとめるかは、会長と副会長に一任していくということによろしいでしょうか。
事務局	いろいろご配慮いただきましてありがとうございます。取組内容について我々と担当課で協議します。資料については前日というわけにはいかない現状がありまして、スケジュールは相談させていただいたうえで検討させていただきます。
福嶋会長	何日くらいまでに資料を送っていただいて何日ぐらいに返して、何日が最終集約というようなスケジュールを出してもらえるとということですか。
事務局	そうです。

発言者	発言内容等
福嶋会長	<p>ではそうさせてもらいます。 それとは別に答申書はどうでしょうか。答申書も送っていただいて、同じ手続きで集約するというところでよろしいですか。</p>
山本委員	<p>修正案の修正したことは赤字でよろしくお願いします。</p>
事務局	<p>修正箇所はわかりやすいようにしておきます。</p>
伊藤副会長	<p>ずっと違和感があるのが、重点政策4番のタイトルです。 「愛着の持てるまちづくり」になっているのですが、第1章の中で、「幸せを実感できるまちのために、誰もが安心して暮らせるまちをめざす」になっていて、そこに「愛着を持てるように」というふうに書いてありますよね。要は、今回の3年の重点計画をめざすうえで愛着を持ってもらわないと、誰もが幸せを実感できないというストーリーが第1章に書いてある中で、1個の政策が「愛着の持てる」というのは、ずっと違和感がありました。 ただ、中身を見ていくと愛着というよりは歴史文化になっていると思います。ここは素直に「歴史文化の魅力を見つめ直すまちづくり」のほうが、読みやすいという気はしています。愛着というと全部を包含しているように見えますが、どうですか。</p>
事務局	<p>愛着という言葉が最初と政策に使っているところで、おっしゃるとおり混在しているところはあります。 重点施策4の愛着という部分は確かに歴史・文化もあります。 しかし、例えば1班の「関わる」部分を重点戦略4に含めて、行政が行っていること、行政が進めようとしていること、川西がやっていることを知っていただくことで愛着につなげていく、そういうことをこの政策全体にまとめて書いております。 政策のタイトルを「愛着のもてる～」にしたのはそういう経緯があります。</p>
伊藤副会長	<p>そもそも重点戦略4にある情報発信の話というのは、すべてに係るという理由で修正されていますよね。 重点戦略1から4の全部に情報発信のことが書かれているのが3章のメインに入っています。重点政策4で出ているのは、清和源氏の統一的なデザインや、歴史文化など4班で議論した内容を中心にして、情報の発信ということを書いているところだと思います。 ここがあるから愛着というふうにするのは、なかなか難しいと思います。 あえて、歴史文化というワードを使わないのか、そこまで踏み込まないという判断があるなら一つの市の判断だと思うのですがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>情報発信は確かにどの班からもありまして共通として市民提案書をまとめました。 歴史文化でまちの魅力を発信していくことはございます。 それ以外にも子育てとか健康とか川西市がいろんなことをやっている</p>

発言者	発言内容等
城南委員	<p>いうことを皆さんにお伝えできて知ってもらうことによって川西市に親しみや愛着を感じてもらえるようにあえて戦略4をここに持ってきました。</p> <p>愛着の持てるまちづくりについて36ページの戦略3です、戦略の方向性として、まちの魅力を効果的に伝えていきたいということです。</p> <p>取組内容について踏み込むかもしれませんが、「民間事業者のサービスを利用し、地域資源を効果的にメディアへ配信」というのがあって、この対象は市民なのかそれとも市外の方々なのかという点がわからなくて、混在しているのかなと思っています。</p> <p>副会長がおっしゃっているのは、市民自身が自分たちのまちの歴史的文化的に愛着を持つというか魅力を感じるということだと思うのですが、ここにもうひとつ入っているのは、川西市の魅力を外に発信して、外から訪れてくれてその結果、川西市が持っている地域資源を地産地消の方が言いたいけれども、結果的に訪れた人に消費していただいて、お金が落ちるので、地域経済が循環していくという、そこが実は川西市には今ありませんよね。お金が落ちない落とす仕組みがない、そこを作り込んでいくところがないので問題があると私は思っています。</p> <p>ですから、地域の歴史とか文化とか、観光における資源を使って、いかに川西市が豊かになるかということまで作りこまないともったいないような気がします。</p>
伊藤副会長	<p>確かにそうだと思います。</p> <p>もしかしたら歴史や文化に関わらないかもしれないが、少なくとも今は川西市の中にどういうものや価値があるのかということが、まだまだ認識されていないため、それを再認識していこうという提案が市民会議であったと思います。あえて歴史文化という言葉を使ってもいいし、市の魅力を再発見できるまちづくりとか、そのほうが何となくいい気がします。愛着となると一気にふわっとしてしまいます。みんなが住みやすいねというようなことだけで終わってしまいかねないと思います。</p> <p>市民会議の初回と5回目に参加者の川西市に対する想いというのは明らかに違いました。それが実は市民会議でいう4班だけではなくて、そういうきっかけをつくっていけば、もっともっとできるというのがこの中に入ってくると思います。</p>
福嶋会長	<p>その裏側かもしれませんが、逆にここにボランティアとか、市民活動に参加できる、身近なところで気軽に参加できるというのを入れこんでいるじゃないですか。愛着を持てるというのにそれが入るのか、と思います。</p> <p>愛着を仮に持っていなくても、自分の安全とか地域の暮らしのためとか子育て或いは高齢者のケアのためにそういう活動しているというのが普通の市民活動やボランティア活動であって。その中で愛着の持てるとうことはあるかもしれないけど、愛着を持ってもらうのが、ゴールではありませんよね。私はそれに違和感はないですね。</p> <p>歴史文化とか、川西市の資源を明確にしたほうが良いと思いました。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>重点政策3までの子育てとか力が発揮できる、住宅都市としての暮らしやすさのところとか4番ではいろいろご議論いただいています。</p> <p>それと同じ歴史文化のところかどうかというのがありますので、優先順位の部分でまちを知ってもら、をしてもら、ボランティアもあるのですが気軽に参加できるというのが最初に盛り込めなかった、そういう意味合いの愛着につながることもあるかと思って今回はこうさせてもらいました。</p>
福嶋会長	<p>だから気軽に市民活動やボランティアに参加できるというのは「誰もが力を生かせるまちづくり」の重点施策2ではないですか。</p> <p>その川西の歴史とか文化とかあるいは自然もあるかもしれませんが、そういうものに愛着をもっていく、好きになっていくって話とは違う気がします。むしろ重点施策2にぴったりはまると思います。</p> <p>身近な活動に参加できるというような、2にも同じようなこと書いてあるところもありますよね。</p>
上村委員	<p>副会長のお話ですが、私がここのタイトルを変えるのであれば、さきほど言われたように「魅力を再発見し、活かせるまち」の方が、他のところとの違いを引き出せるという意味では、いいのかと思います。</p> <p>愛着というのは内容があまりに広すぎると思います。重点戦略を見ると、文化歴史や自然を再発見してそれを生かそうという話になっているので、やはりそういう意味では、魅力を再発見、つまり発見していなかった、再発見「再」ってというのが非常に重要なので、再発見し、それを生かすことがこのところに盛り込まれることが一番いいというように思いました。</p>
伊藤副会長	<p>「歴史文化の魅力を再発見し生かすまちづくり」だと思いました。</p> <p>会長が先ほどおっしゃった、重点戦略2の市民会議からの提案に「まちの宝物サポート隊」というのがあり、実際に4班で議論があったのですが、ただちょっとニュアンスが違うと思っていて、多分これは無理やり結びつけられていると思っています。</p> <p>ボランティアとか市民活動につなげるために、この主な提案の説明書きが「市民一人ひとりが川西を自分ごと化することで、自分の住む地域を大切にす文化を形成する」となっています。</p> <p>提案書にも書いていますが、市の歴史や文化を知らなかったから、それを再発見するために、自分たちでグループをつくって、それを出していこうというのが宝物サポート隊なので、本来はここに入ってくるというよりは、まさに再発見のところに入ってくると思います。</p>
福嶋会長	<p>今の意見を踏まえて、再提案のものを考えていただくということによろしいでしょうか。</p> <p>他に伝えたいことがあればそれもメールで、修正案が出て来る前にメールを送ればいいですよ。</p> <p>予定したものと違うようになりましたが、意味のある議論になったかと思っています。事務局は大変ですけれどよろしく願いいたします。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>皆様、本日はどうもありがとうございました。</p> <p>今後につきましては、先ほど話が出たように事務局から改めて整理してお送りさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは本日の会議はこれにて終了とさせていただきます。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>